

Injury Alert (傷害速報)類似事例

ペン型注入器ディスプレイダブル注射針による手指刺傷 (No.136 ペン型注入器用ディスプレイダブル注射針の誤廃棄による手掌刺傷の類似事例 1) ㊦

事例	基本情報	年齢：6歳 9か月 性別：男児 体重：19.0kg 身長：110.6cm
	家族構成	不明
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		手指刺傷
医療費		外来 42,480円
原因対象	対象名称	インスリンのペン型注入器用の注射針(製品名などは不明)
	入手経路 使用状況	不明
発生状況	発生場所	ファミリーレストランのソファ
	周囲の人 周囲の環境	家族で夕食のためにファミリーレストランを訪れた。
	発生年月日	2024年11月X日(日) 午後7時0分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	本児がファミリーレストランのソファに座ろうとした際、座面と背もたれの接する部分に注射針が2本落ちているのに気づいた。拾い上げようとしたところ、針ケースがついた状態ではあったが、保護シールを外した注射針の後針【図】が右示指に刺さり、微量の出血を認めた。その場で直ちに洗浄を行い、医療機関Aを受診した。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰		医療機関Aを受診時、バイタルサインは正常で、患部は軽度の発赤を認める程度であった。針は保護シールが外され開封されていたことから使用後と推測され、使用者が特定できない針刺し事故と判断し、血液検査でB型肝炎などの感染症検索を行い、特に異常は認めなかった。4週間後にも血液検査の再検査を行い問題がないことを確認し、経過観察を終了した。
キーワード		針刺し、注射針、在宅医療廃棄物

【図】 ペン型注入器用の注射針（参考）

出典元：テルモ株式会社

